

比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会 会議録

会議の名称	令和4年度第1回比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会
主な議題	(1)令和3年度調査概要報告 (2)令和4年度調査範囲等の現地事前確認
開催日時	令和4年9月29日(木) 午後1時30分～午後4時00分
開催場所	国指定史跡小倉城跡
会議録の公開 (非公開・一部 非公開)とその 理由	全部公開
出席委員	梅沢太久夫委員、落合義明委員、宮田毅委員、田中信委員
事務局	大野健司生涯学習課長、杉山拓馬生涯学習課主任
オブザーバー	元ときがわ町教育委員会生涯学習課長(文化財担当) 石川安司 埼玉県教育局市町村支援部文化資源課史跡・埋蔵文化財担当 尾崎沙羅主事
記録方法	要点筆記
<p>【審議等内容又は概要】</p> <p>1 開会 杉山主任</p> <p>2 あいさつ 梅沢委員長</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 令和3年度調査概要報告</p> <p>本会の開催にあたっては、委員長の判断により元ときがわ町教育委員会生涯学習課長の石川さんに説明及び意見を述べて頂くこととしたため、比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会規則第11条の規定に基づきオブザーバー出席を承知いただく。</p> <p>令和3年度調査概要報告について、事務局より資料に基づき説明を行い、石川さんより補足説明を頂く。</p> <p>【指摘事項】</p> <p>①資料については、遺構No、土層断面層位番号、柱穴規模等の一覧表の記載、用紙サイズはA3ではなく原則A4で作成するなど、誰が見てもわかるような明瞭な資料作成を心掛けること。</p> <p>②検出された建物跡の配置・形態・規模の解釈については、よく検討したほうが良い。</p> <p>③概要報告書を作成すること。</p> <p>(2) 令和4年度調査範囲等の現地事前確認</p> <p>調査範囲として今年度予定している柵形虎口について、現場の状況を踏まえて、範囲等を確認した。</p>	

【確認事項】

- ①土層確認用ベルトとして、南北に1本、東西に2本のキの字にベルトを設定。
- ②ベルトで設定された区画において、最初に岩壁が露出している側の区画から調査し、岩盤面（あるいは硬化面）を確認すること。
- ③石積みの下部構造の確認。
- ④階段遺構の有無の確認。
- ⑤廃土置き場は北西の平場で問題ない。

その他審議会等の長が必要と認めた事項

配布資料（PDF形式）

- ・次第
- ・国指定史跡小倉城跡発掘調査概要報告
- ・調査範囲確認用図面